

三井住友海上火災保険株式会社とSDGsの推進や防災減災などで連携

1月24日、三井住友海上火災保険株式会社と、SDGsの推進や防災・減災に関することなどさまざまな分野で連携を行う包括連携協定を締結しました。また、この協定に基づく取り組みとして、水災害時の被災者生活再建支援サポートを実施するため、「損害調査結果の提供及び利用に関する協定」を併せて締結しました。この取り組みは、同社の損害保険を契約する市民が台風などの水災害で被災した場合に、同社が行う保険金支払いのための損害調査結果を、契約者同意のもと、市に提供いただくものです。これにより、被災した方が罹災証明書を申請した場合に、迅速な証明書の発行が可能となります。

市では、今後もさまざまな民間事業者などと連携し、市民サービスの向上や地域の課題解決に向けて取り組んでいきます。

▶問い合わせ 企画政策課公民連携グループ(内線308)または税務課資産税グループ(内線229)



源長哲司埼玉支店長(左)と石井市長

太田東小学校閉校後の利活用についてお知らせします

閉校後は、学校が地域で担ってきた役割を踏まえ、校舎や体育館を災害時における避難場所として市民の皆さんの安心・安全を確保するために引き続き指定避難所として使用します。

なお、グラウンドや体育館は、スポーツ団体や地域のイベントで利用されていることから、新たな活用が開始されるまでの間、地域コミュニティの場として活用していきます。

また、今後、アンケートや意見交換会を行うなど、地域の皆さんの意向を踏まえつつ、民間活用も視野に入れ、利活用の検討を進めていきます。

▶問い合わせ 財産管理課(内線311)



太田東小学校

緊急時の応急給水のため給水車を新たに配備しました



新たに配備された給水車

市の水道事業では、災害や断水などの事故が発生した場合、迅速かつ安全・安心な水を届けられるよう新しい給水車を配備しました。

これまでの給水車は、平成14年に配備したタンク容量が1,000リットルでしたが、新しい給水車では、一度に1,800リットルの水を運ぶことができ、応急給水能力が大幅に向上しました。今後も安全・安心な水道水を市民の皆さんへ供給するため、資機材などの充実に努めていきます。

▶問い合わせ 水道課業務グループ☎553-0131

道路照明灯に関する連絡は照明管理センターへ

このほど、市道道路照明灯を全灯LED化する「スマート街路灯・LED街路灯」切り替え工事が完了しました。これは、省エネルギー化やCO₂削減のために実施したものです。

4月から維持管理などを事業者へ委託するため、連絡窓口は交通対策課から照明管理センターになります。明かりが点いていないなどの不具合がありましたら、照明灯の支柱に取り付けてある管理プレートの4桁の番号と不具合の状況などを照明管理センターまで連絡してください。

▶道路照明灯に関する連絡先

照明管理センター ☎048-501-8101(平日午前9時～午後5時) ※通話料は発信者負担

次の項目をお伝えください

- ①氏名
- ②連絡先
- ③管理プレート番号(4桁)
- ④不具合の状況

▶問い合わせ 同課(内線283)



管理プレートの例

～スケジュールどおり順調に進んでいます～

新ごみ処理施設の事業者選定に着手します

本市と羽生市が共同でごみ処理施設を整備するため、令和4年4月1日に行田羽生資源環境組合を設立しました。組合では、予定している令和9年度中の新施設稼働を目指し、現在、施設規模や配置などの方針を定める施設整備基本計画の策定、民間活力導入に関する調査、周辺環境への影響調査を行っています。また、建設予定地では、埋蔵文化財発掘調査が始まっています。

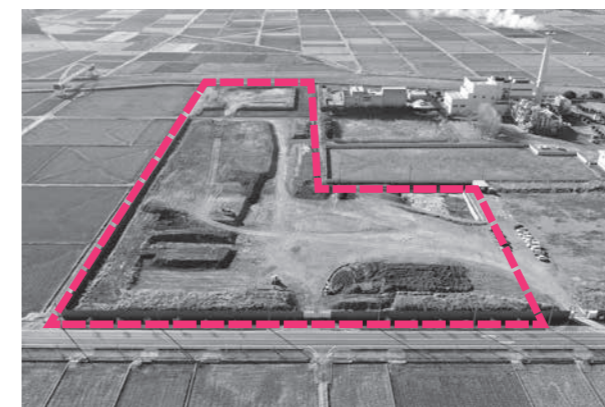
2月1日の組合議会において、施設の建設費および運営事業費の債務負担行為*(令和6年度から令和30年度までにおける総事業費)が盛り込まれた令和5年度当初予算が可決されました。これにより、スケジュールどおり令和5年度から施設建設に向けた事業者の選定に着手することになります。

事業者の選定に当たっては、学識経験者などで構成する専門の委員会を設置し、公平公正な審査、評価を行います。

*債務負担行為とは、将来にわたって支払う内容をあらかじめ定めておく制度です。



埋蔵文化財発掘調査の様子



施設建設予定地(小針クリーンセンター隣接地)

新たに整備する施設の種類と規模(予定)

施設の種類	ごみの種類	規模
ごみ焼却施設	可燃ごみ	126トン/日
マテリアルリサイクル推進施設	不燃・粗大ごみ	12トン/日
	かん類	2トン/日
	ペットボトル	3トン/日
剪定枝資源化施設	剪定枝	5トン/日
資源物ストックヤード	かん類・ビン類 紙類・布類 ペットボトルなど	—

施設整備スケジュール(予定)

	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度	令和8年度 2026年度	令和9年度 2027年度	令和10年度 2028年度
施設整備基本計画策定業務	■						
PFI等導入可能性調査業務	■						
生活環境影響調査業務	■						
埋蔵文化財発掘調査業務		■					
事業者選定業務		■	■				
施設整備工事			■	■	■	■	■
新ごみ処理施設稼働							▶

▶問い合わせ 行田羽生資源環境組合☎577-8106